

平安時代儀式書における主要年中行事の時刻史料（抄）

細 井 浩 志

The selection of provisions about time schedule of major annual court function on the typical ceremony manuals in the Heian era

Hiroshi HOSOI

abstract

There are many records of Monarkies in the Heian era about 'times' for example KOKU(刻), which is pre-modern Chinese and Japanese time system, and one day was divided into 12 KOKU. In the 7th century, WA(倭, old Japan's state name) goverment introduced Rokoku(漏刻, clepsydra). From that historical event, Japanese has been becoming gradually punctual. But there are not enough rceords concerned with punctuality about people in the Nara era. So it is important to take together such records in the Heian era. This note is a selection of rules and regulations about time schedule of major annual function on the typical ceremony manuals. It can be said that the provisions of time schedules of many annual functions were more flexible than everyday functions that has rigid provisions of time. This work is incompletion but probably useful for the study of Japanese punctuality.

はじめに

平安時代の貴族の日記を見ると、多くの行事・政務に従事する彼らの行動が、時刻とともに記録されている。漏刻とよばれる精密な水時計が日本（倭国）に導入されたのは、七世紀のことである。日本に住む人間にとって、機械的に計測された時間に拘束されるようになるのは、この時からだと言える。こうした“計測された時間”が浸透し始めるのは、次の奈良時代であろうが、残念ながら奈良時代人がどの程度時間を守ろうという感覚をもっていたのかを物語る史料は、必ずしも多くはない。そこで多くの日記・儀式書を遺した平安貴族の時間意識を研究することが、日本人の時間感覚を歴史的に追求する上で重要になってくる。

本稿は、貴族が参照した平安時代の代表的儀式書として、『内裏式』『儀式』『西宮記』『北山抄』『江家次第』をとりあげ、そこに記された宮中での主要な年中行事の時刻規定を示したものである。なお原文の細字には[]を付し、時刻規定は太字で示している。主に引用し

た活字本は、①『内裏式』・②『儀式』が神道大系、③『西宮記』が新訂増補故実叢書、④『北山抄』・⑤『江家次第』が増訂故実叢書であるが、③④⑤も神道大系本は適宜参照した。

紙幅の関係で省略したが、本来は日常行事や臨時行事なども採るべきであろう。また「裏書」をはじめ儀式書中に引用される他の儀式書・古記録等の時刻に関する記事も、いつの時点での書き込みかの問題もあるため多くは省略した。実はここに掲げていない『延喜式』には、様々な条文に詳細な時刻規定が掲載されている。また『新撰年中行事』などの年中行事書にも時刻規定があり、それらを載せないのは甚だ片手落ちであるが、それはまた機会があれば示したい。本稿に現れているのは、主として高位貴族の時間感覚だといえよう。なぜなら彼らこそが、これら儀式書により儀式を執行するからである。

ところで儀式書には、十二辰刻による時刻規定以外にも、「平旦」「鶏鳴」などある程度十二辰刻に対応するとされる時間規定があり、「夜」「朝」「日暮」のようなより曖昧な時間規定も頻出する。そこでやや恣意的ではあるが、これらは一部を省略しつつ比較のために掲載し、十二辰刻と同じく太字で示した。

通覧した印象としては、年中行事は日常の行事より曖昧な時間規定が多いようである。ただし時刻規定はなくとも、「刻限」「時剋出御」など、日時勘文等で定めた所定の時刻の存在を示す儀式も少なくない。これは令制以前に起源をもつ儀式や、令制後でも漏刻を前提とせずに行われた儀式がまずあり、そこに時刻観念の浸透にともなって、厳密な時刻が設定されたという事態が想定される。ただし、これについて今後の詳細な検討が必要なことは言うまでもない。

以上のように、本稿は甚だ不十分なものであるが、年中行事の儀式次第における時間の規定の傾向を知り、今後の歴史学において「時間」を研究するための足がかりとしたいと考えているところである。

儀式書本文

正月

(1)元日四方拝

③『西宮記』巻一・四方拝 [.....]

追儺後、主殿寮供御湯、**鶏鳴**、掃部寮敷御座於清涼殿東庭。.....

⑤『江家次第』巻一・四方拝

四方拝事（正月一日**寅一刻**）

[.....] 追儺後、主殿寮供御湯 [.....] **鶏鳴**、掃部寮奉仕御装束於清涼殿東庭。.....

寅一刻出御.....

庶人儀 [卯時前庭敷座云々] ……

日蝕年例可尋 [延喜十二年日蝕、四方拝如恒、寅時日食例可尋] ……

又説四方拝事

追儼後供御湯。鷄鳴、掃部寮奉仕御装束於清涼殿東庭……九記卯ノ刻。……

(2)元日供御薬

① 『内裏式』中・十二月進御薬式

……元日平旦、就内侍取机盛屠蘇、入左近衛陣側、安置庭中退出。……

② 『儀式』卷十・進御薬儀

……晦日卯一刻、中務・宮内二省率内薬・典薬寮司、持御薬并人給薬机、共候延政門外。……但屠蘇者、内薬司官人率薬生、同日午刻、封漬御井。令主水司守之。元日寅一刻、官人率薬生等、就井出之。……令薬司童女 [殿上所定]、先嘗、然後供御。……

③ 『西宮記』卷一・供御薬事 [……]

……同日 (= 晦日) 以屠蘇漬御井 [在豊楽院西典薬巽]、早旦献。早旦寮官医侍、請申御薬。……正月元日早朝、供奉屠蘇御膳事。……

諒闇

(四方拝) 延長九年四月一日、……次諸司供御薬如常 [但内膳供御膳七種之後、左近中将伊衛朝臣申、亥肉 (内力) 不供之由] ……

⑤ 『江家次第』卷一・供御薬 [正月二三、弘仁年中始之]

御厨子所……元日早旦御装束……時ノ簡前掃部寮敷膝突。一枚、為嘗御酒所司座。……平旦二天皇御東廂……

(3)元正朝賀・朝拝

① 『内裏式』上・元正受群臣朝賀式

……其日未弁色、諸衛服大儀、各勒所部、立大儀仗於殿庭左右及諸門。……卯三刻以前、諸儀弁備訖 [主殿東西各二人、圖書東西各二人。第一人当爐立、以北為上、相去各五尺]、四刻大臣入自昭訓門、就幄座。閤外大臣 [若無大臣者、参議以上行事]、令槌外弁鼓、諸門鼓皆心 [殿下鼓不心]、乃開章徳・興礼兩門 [自余小門先已開]、……辰一刻皇帝乘輿、入大極殿後房、少時皇后御輿亦入後房 [兩近衛次將各一人、率將監・將曹・府生各一人、近衛各卅人。更還後宮、供奉御輿。又左右兵衛尉以上各二人、率志・府生各一人、兵衛各卅人供奉亦同]、警蹕・侍衛如常。……即還御豊楽殿。

② 『儀式』卷六・元正受朝賀儀

……当日丑一刻、掃部寮設式部輔以下・省掌以上座於式部西門、訖輔以下依次就座。五位以上就版受点。寅一刻兵部丞・録率史生・省掌等、左右相分、入自章徳・興礼兩門。……寅二刻左右近衛府

共始擊動鼓、三度。度別平声九下、諸衛依次相應。……**卯一刻**兵庫昭訓門内、大臣幄西南去一丈立鉦、南去一丈立鼓〔鉦加角槌二柄、鼓木槌二柄、並有篋、下皆准此〕、……**卯一刻**近衛府擊列陣鼓、一度、平声九下、諸衛依次相應。**三刻**擊進陣鼓、三度。度別九下〔初發細声、漸至大〕、……**卯三刻以前**、諸儀便備訖。閣外大臣以下、入自含耀・章義兩門、就朝集堂床〔大臣以下・參議以上在東、親王以下・非參議三位以上及奏賀・奏瑞在西。若太政大臣就列者、右大臣就西〕、……**辰一刻**乘輿出自建礼門、御太極殿後房、少時皇后亦入後房……兩氏閉門、諸衛擊鉦解陣。即遷御豐樂殿。

③『西宮記』卷一・朝拜〔……〕

辰刻、天皇御南殿〔掃部司昇出大刀契等、置殿南簀子西二間〕。……進鳳御輦〔……〕、次將〔中將〕開輦〔内侍置御劍輦中〕、天皇御之……御太極後房……槌召鼓、群臣列入、天皇就高座〔即位時、不待次第、**吉時**登座、着冕服冠礼服……〕、……

④『北山抄』卷三・朝拜事〔前三日間、若有雨湿停止〕

……**当日辰刻**、乘輿幸小安殿〔御厨子所供小膳、所司候殿坤角、供御藥〕、……

④『北山抄』卷八・大将要抄・朝賀

辰一刻出御、々輿持立日華門前橋上之時、左右大將進立南階東西……

(4)小朝拜

③『西宮記』卷一・小朝拜〔延喜初無此儀〕

……延木十九年正月一日、大臣依申、有小朝拜、**午三**、坐帳中。皇太子參上、於東又廂拜舞。了退出。**四刻**親王以下、於東庭拜云々。

康保三年正月一日、太子拜觀、**入夜**侍臣指燭〔依不候主殿寮也云々〕

康保三年正月一日、今日雨雪供御藥。**未刻**出侍所令飲酒。王卿侍臣暫入内。**申刻**左大將源朝臣高明〔于時大納言〕、令申可供小朝拜之由。同就倚子登。上野太守親王已下殿上侍臣、入自仙華門、立東庭拜舞云々〔須立仁寿殿階下并南廊、而立庭中。又民部卿醉倒、然而依次退出〕

⑤『江家次第』卷一・小朝拜〔……〕

……**若及暗**供御燈立於御座左右門……

(5)元日宴会

②『儀式』卷六・元日御豐樂院儀

……**当日昧旦**、中務録率史生・省掌等、殿南七丈七尺、置宣命版、南去一丈、置尋常版、掃部寮敷御座於高御座。……

④『北山抄』卷一・同日宴会事

時刻御南殿、……中務省率陰陽寮奏御曆。……膳部水部等、入自月華門、取御贄退出〔**日晚時**、件等奏、出御以前令奏事由、就内侍所云々〕、……

⑤『江家次第』卷一・元日宴会

当日平明令主殿寮掃除南庭。……当日早朝中務録入従日華門。尋常版位北去一許丈置宣命版位……内弁召外記、問諸司具不。……諸司奏可付内侍所由。件次被奏〔日晚若雨降、若諸司不具時也〕

……

天皇渡御南殿……

元日宴会〔御忌月、並不出御儀〕……

群臣下殿。……及暗時、侍女官供御殿油、所司供庭燎、遅参公卿令蔵人奏〔依不出御也〕、隨勅許著座。……

(6)正月2日皇后朝拜

②『儀式』卷六・正月二日朝拜皇后儀

当日早朝、掃部寮設式部省輔已下座於縫殿寮東道〔史生已上東面北上、省掌北面東上〕、……巳刻省丞已下列立於寮南道〔南面西上〕、……。

(7)正月4日国忌事

④『北山抄』卷一・四日国忌事〔東寺〕

参議遲明到寺門、先問上官参否、……

⑤『江家次第』卷三・国忌〔東寺儀。……〕

参議入自南大門。就中門内座……大蔵省置布施〔調布四十段〕於堂前中取上〔近例早旦付寺家〕、……

(8)正月5日叙位(9)も参照

③『西宮記』卷一・五日叙位儀〔……〕

……叙例入眼〔……〕覆奏〔……有漏者之時、七日早旦又請印。近代無此例〕

⑤『江家次第』卷二・叙位

摂政時叙位事……若入夜者、執筆座右立切燈台、納言座前立燈台一本。若有功課定者、参議座中間又立切燈台〔並諸大夫役也〕……

(9)正月7日白馬節会

①『内裏式』上・七日会式

前一日、所司弁備豊楽殿、構舞台於殿前……其日平明、左右衛門樹梅・柳於舞台之四角及三面、内蔵寮以縹帶結著、即置舞台鎮子〔寮官人少数者、用内豎・大舍人等〕、……宴畢廻御本宮、其日速昏、主殿寮執燎、入自逢春・承秋兩門。……

②『儀式』卷七・正月七日儀

……当日寅刻、掃部寮設式部座於興礼門以西壇上〔南面西上〕、輔以下就座、点検五位以上。……

平明左右衛門樹梅・柳於舞台四角及三面、掃部寮敷調薦於台上、……辰刻式・兵兩省丞各一人、為賜可叙人簿。予就東廊而候、所司弁備御饌・羞群臣饌。時刻乘輿御清暑堂、賜可叙人歷名於內侍。內侍臨東檻授大臣。……宴罷、乘輿還宮。其日若速昏、主殿寮執燭。……

④『北山抄』卷一・七日節会及叙位事〔式兵兩省、立行立標〕

……三獻後仰御酒勅使〔或二獻後仰之〕、內教坊別當奉舞妓奏〔別當次將令持將監、於巽角壇下、伝取奉之。將監持筆加署、奏聞如前。別當不參者、內弁奏之。所載舞五曲。有大曲一曲若及深更、不必盡之。但上卿令奏事由可止歟。天慶八年、未供御酒之前、進件奏。依延喜八年例、入夜故也、云々〕、……

④『北山抄』卷九・羽林要抄・白馬節〔……〕

……次牽白馬〔近仗輿、度了坐。白馬又度清涼殿前。若不臨暗、主殿寮掃南庭〕、……

⑤『江家次第』卷二・七日節会装束

……當日早旦中務省丞録、入從日華門、尋常版位北去一許丈、置宣命版位〔兩儀置宜陽殿西廂北行第二間中央砌石上〕、……

(10)正月8日御齋会

②『儀式』卷五・正月八日講最勝王經儀〔十四日儀准之〕

……當日昧旦、外記・史・式部・彈正左右相分、列立庭中……十四日昧旦、東西二寺、盛雜穀於漆器廿二具、列立南榮楹外……

⑤『江家次第』卷三・御齋会始

……僧皆參之後〔或不待兩三〕、仰弁令打鐘〔弁出仰史〕、……夕座行事弁留可行之。六時事等綱所差定導師。

御齋会竟日……剋限公卿以下參入。上卿召外記問諸司具否。召弁問僧參否。仰弁可令擊鐘由。……

(11)正月14日御齋会内論義

③『西宮記』卷一・御齋会内論議〔旧例、僧綱以論義文、付內侍〕

……藏人式云、……時刻中少將着座。次王卿、次僧綱率衆僧自仙華門參入、昇自南長橋着座〔御誦經、仁王会時、同用此門〕、……

⑤『江家次第』卷三・御齋会内論議〔大内儀〕

……同御物忌儀。當日早旦上南殿御格子〔掃司〕、立母屋北御障子〔内匠寮〕、……

(12)正月15日御新

②『儀式』卷九・正月十五日於宮内省進御新儀

其日平旦、掃部寮設式・兵等省輔以下座於西舍〔式部北上、兵部南上、並東面〕、……巳刻彈正忠

并巡察已下主殿寮、檢察御薪。

(13)正月16日踏歌

①『内裏式』上・十六日踏歌式

早旦天皇御豊楽殿、賜宴次侍従以上〔有蕃客者、侍従及六位以下皆召〕。供設・儀式一同元日会〔内膳服色亦同〕、但不構舞台。……宣命大夫退罷之後、中務輔以上唱名賜綿、各有差。但皇太子祿授坊官〔延曆以往、踏歌訖縫殿寮賜榛摺衣。群臣著摺衣踏歌、訖共跪庭中、賜酒一杯・綿十屯。即夕令近臣系引。至于大同年中、此節停廢。弘仁年中更中興。但糸引・榛摺・群臣踏歌等並停之〕、……**日既逮昏**、執燎者列殿庭、同七日儀。……

②『儀式』卷七・正月十六日踏歌儀

其日早旦、所司裝飾豊楽院如常。……**日既逮昏**、執燎者列殿庭如常。……

③『西宮記』卷二・踏歌事

……**晚景**着鞠塵袍、白下襲、着座〔打熨斗囊持等、着位袍〕、……藏人当夜歌人候右近陣〔入自日華門〕、出御〔東孫庇南四間、鋪毯代、立御倚子〕、……歌曲唱後、舞人已上双之舞、進半上東面南階、内侍二人分被綿。且舞且還〔女藏人二人持入綿匣、候内侍後〕、彈和琴者已下、男藏人伝取自御簾中、於庭中被之。奏我家曲、退出自北廊戸。向所々、**曉**歸參御座、如初。……

⑤『江家次第』卷一・踏歌

此日多及晚景參、是依月明庭人踏歌故也……

⑤『江家次第』卷三・踏歌〔正月十六日被行由。事起無所見。今案正月十五六日月明時、京中士女踏歌云々。見朝野僉（群力）載〕……

同装束

……**当日早朝**、中務丞録率史生以下、入從日華門、尋常版位北去一許丈、置宣命版位〔兩儀同元日儀〕、……

(14)正月17日觀射事（(15)(16)も参照）

②『儀式』卷七・十七日觀射儀

……**其日早旦**、兵部省録率史生・省掌等、入自便門、自儀鸞門東戸、北進六丈、立射者東向標。……乘輿還宮。**日若逮昏**、主殿寮供燭如常儀。……

④『北山抄』卷一・觀射事

……**日暮者**、各令二人射。……

(15)正月17日射礼儀

④『北山抄』卷三・射礼儀〔建礼門、豊楽院儀、見内裏式、并清凉抄、此門儀無別式〕

……**時刻**御腰輿、幸建礼門〔不候太刀契鈴等〕、王卿取弓矢供奉……次諸衛以次射〔……〕、唱者二人〔……〕、進唱官姓名同前〔**若日暮**、有勅、各二人進射……〕……**若光景暮**、有勅停射、乘輿還宮〔式文、帶刀射畢叩鉦三下、次槌退鼓、皇太子以下、再拜退出者。而近代**日暮**、不行此儀〕、王卿入春華門扈從如初。

④『北山抄』卷九・羽林要抄・射礼〔近代無出御〕

……次第第射、先左近右兵衛、次右近左衛門、次左兵衛右衛門〔**日暮**者、各令二人射〕、次官不具者、不能射、若長官在公卿座者、雖無次官令射之、当府射畢、次将或旦起座。

(16)正月18日賭弓

③『西宮記』卷二・十八日賭弓〔……〕

……勝方府生取布〔率近衛一人、入自幔南取布。小拜。置刺籌傍。**入夜**者、主殿察炬火。射庭一人。巽一人。的前一所也〕、……次着座〔或文云、**光景未暮**、令王卿已下次将等射了〕、……

④『北山抄』卷九・賭射

早旦、殿上次将帶劍插箭、射手箭奏、挿府文杖奏之〔兵衛佐不帶劍、挿矢奏之云々〕。隨即賜畢〔……〕、**拵吉時**率射手〔……〕着南殿前庭座……

⑤『江家次第』卷三・賭射

……**拵吉事**（**神道大系「時」**）四府引射手、將監尉引之〔若無者奏聞将曹引之。右近無例云々〕……**若及暗**者、炬火三所。御前良一所。射庭巽一所。的前一所。若火暗時、次将仰云、火搖團。……

(17)正月21日内宴

③『西宮記』卷二・内宴

……公卿行酒〔或親王行〕。奏樂。漸獻詩〔**日暮**、次将等帶弓箭。「徹魚袋。但不着平鞞。着細劍」〕……

③『西宮記』卷九・内宴

一内宴之日時、**及晚景**則近衛将等帶弓箭遞候出居之座。……

④『北山抄』卷三・内宴事〔廿一二三日間、若有子日、便用其日〕

……**時刻**御仁寿殿、供膳女藏人〔十人〕、度就紫宸殿北廂。采女撤御台盤覆畢、出御……三獻之後、文人依召參上〔仰出居令召之、**若日暮**、不必待三獻、殿上文人雖獻詩不就之。但可獻題人參上也〕、次給紙筆文人以上〔……〕、次内教坊別当、進舞妓奏〔……〕、覽畢、作音樂……**日暮**、中少将帶弓箭、殿司供御殿油〔御座東西間各一基、公卿座上下各一基〕、主殿察供庭燎、奏樂……

同（=延喜）十三年（**神道大系「十二年」**）、**申刻**、夕陪膳、更衣代出陪之。……

天曆五年、依召參御前、奉尚侍〔從二位〕女御徽子女王〔從四位下〕加階事。召内記、仰可儲位記之由〔臨期、仰師尹卿令行之。依女位記不唱、又父親王不奏慶、後日奏之〕、**申刻**召王卿云々。……

(18)正月22日賜馬料

②『儀式』卷九・正月廿二日賜馬料儀

当月十三日〔七月十日〕、**平旦**、中務・式部・兵部等省録、依次就左弁官版、式部録進就版、申云、……廿二日**質明**、式・兵二省省掌向大蔵省、唱計諸司。掃部寮設丞・録已下座於蔵下、丞・録・史生各就座。大蔵省積料錢。掃部亦設二省并大蔵座於料物下。大蔵積物畢狀申弁官。……

(19)正月上卯日卯杖

②『儀式』卷六・上卯日進御杖儀

其日早旦、所司裝飾紫宸殿。近仗服中儀服。皇太子參入内裏、坊官率舍人四人〔舍人監預撰定容貌端正者〕、拳御仗案隨之。皇帝御紫宸殿。……

(20)大臣大饗

④『北山抄』卷三・大饗事〔……〕

早旦差使〔五位〕、奉遣諸親王家〔其詞云、今日有行大饗、若令過給如何。但隨程非無用意〕、中使來給蘇甘栗……

⑤『江家次第』卷二・大臣大饗

早旦差五位奉諸親王家〔近代無此事〕、其詞云、今日有大饗。若令過給如何云々。蔵人到中門、以家司令奉蘇甘栗等。……

(21)除目

③『西宮記』卷二・除目〔有摂政者、着議所行、參議執筆、有所勞者、以弁示諸卿云、有所勞不罷着議所、此方仁諸卿向宿所。……〕

……置文事……居汁物、立箸。**入夜**立燈台……召名上卿、入自東門〔着靴、京官召着外記〕、着庁。外記置召名〔入自北西戸、取管退〕、上卿召々使〔二弁出南門、加列〕、召使称唯。立西庁壇下〔**入夜者同**〕、……

⑤『江家次第』卷四・除目

……初夜儀畢。主上被仰云、今夜者加波加利〔近例不被仰此詞〕……

第二夜……

次主上被仰云、〔此夜只且利〕……

除目下名……次上卿召兵部省給下名如前。丞退歸間式部丞立前退出〔以上、雖**入夜**不問云々〕、……
(頭書)參木進之間掩隱大間載人之所。勸盃指油時亦同。

2月

(22)2月4日祈年祭

②『儀式』卷一・二月四日祈年祭儀〔六月・十二月十一日。月次祭儀亦同〕

……其日卯四刻〔月次祭六月卯一刻、十二月辰一刻〕所使弁備庶事。神祇官陳幣物於齋院。京職貢白鷄一隻、近江豚一頭〔月次不貢鷄・豚〕、次神祇官人率御巫等、入自中門、就西舍座。……

③『西宮記』卷三・祈年祭〔廢務。先一日、少納言付内侍。奉齋文。他廢務准之〕
平旦上卿着神「祇」官北門〔……〕上卿着庁座〔……〕……

（⑤『江家次第』卷五・祈年穀奉幣）

上卿參議着陣。……上卿仰參議令書〔大弁〕若無大弁者、他參議。若又無者、令弁書之。又仰弁令進日時勸文。弁仰陰陽寮令勸申進之。參議書畢奉土卿。伊勢……次上卿撤例文等入日時定文於筥。次令藏人若殿上弁奏之〔乍居座奏之〕、次返給。上卿下外記。行事弁若今夜奏神祇官勸文者、即令弁奏之。仰率分年料相分依請。

（頭書）次返給上卿取文結申先日時次定文職事每度仰。々詞日時勸申依定文申依。

……同奉幣儀……当日早旦内記清書宣命〔……前一日被奏草時、乃請紙夜間書之〕……

②③ 2月10日申三省考選

②『儀式』卷九・二月十日於太政官庁申三省考選目錄儀

当日平旦、中務・式部・兵部三省輔各引丞一人、進太政官、候於南門〔掃部寮預儲床子〕、弁官未申政之前、三省輔各率丞〔輔執考目錄、丞執選目錄〕……

②④ 2月10日季祿

②『儀式』卷九・二月十日申春・夏季祿儀〔八月亦准此〕

当日平旦、中務・式部・兵部等省錄依次就版〔中務・式部左版、兵部右版〕……

②⑤ 2月11日列見

②『儀式』卷九・二月十一日列見成選主典已上儀

……当日昧旦、掃部寮設二省輔已下座於南門外壇上〔式部在戸内、兵部在戸外〕、輔已下就座。……

④『北山抄』卷七・列見事

刻限以前、參官、着東廊座〔着隱文帶、螺鈿劍〕上卿召外記、問所司具否、申代官等畢、着靴就庁、申文請印等畢。……三獻後飯。五六巡後餅燂〔……〕、依召置碁局円座等。囲碁一局〔此間有別肴物獻盃等事。或依日暮不暮〕……

⑤『江家次第』卷五・十一日列見事

……次二獻〔此以後計庁失礼行罰酒。依一人失、大弁以下皆飲。若日暮、自一獻行罰……〕……

②⑥ 2月上丁積奠（8月）

②『儀式』卷七・積奠講論儀

其日質明、所司立高座於堂上〔執經座堂中戸南向、執讀座相對在南、問者座執經・讀二座間、西去

一許丈、東面〕設皇太子以下・五位已上座……

④『北山抄』卷一・上丁積奠事

官政畢。上卿以下相率向大学寮……上卿召召使二声、称唯参入。上宣召式部省〔若入夜、先問云々〕……外記候巽角砌上、寮允一人秉脂燭。上卿召文章得業生、為講師。……

⑤『江家次第』卷五・積奠〔……〕

（傍書）……延久四年三月十四日甲午、權中納言源隆俊卿着仗座、被奏大学寮先聖先師九哲等廟像可被修補日時勸文。四月三日壬子、時件像元慶四年巨勢金岡以唐本所奉図絵也。……

⑤『江家次第』卷八・積奠紫宸殿内論義装束

当日早朝上殿御格子〔掃司〕撤東南障子……

⑵ 2月仁王会（7月）

④『北山抄』卷六・仁王会事〔……〕

上卿仰弁大史、令進例文〔……〕硯大間書等、令大弁書僧名〔若無大弁、他參議又得〕、又仰弁官、召陰陽寮、令勸申日時〔依一日事、不動儲時、事雖不具、先守時刻、令打鐘了〕、僧名定畢、別書檢校納言參議〔大弁相通充之、若無大弁、用他參議〕、行事弁史加日時勸文、盛一筥令奏之〔行事史不奏〕、返給、即給行事弁。先開僧名結申、仰云、宣旨宣〔倍〕、又結申、日時勸へ、又仰其定日〔史撤其筥〕……当日早旦、檢校上卿以下、着八省、催行雜事〔若有闕請、付行事所令補〕、刻限已至、仰行事弁、令打鐘〔近例、於一所被行時、当日打鐘并堂童子等事、大臣可催行也。至于上臈納言者、令檢校行耳〕、或未打鐘之前、上卿率參議以下、度大極殿壇上……即着大極殿、令始行朝講、行香畢。率參議以下、經脩明陰明月華等門、參着御所〔地下人者、度階下着南殿。祝願夕誦之、行香夕講行之。見延長七年宣旨、至于大極殿、為參内、朝講行香也〕……

⑤『江家次第』卷五

仁王会定〔……〕

上卿參議仰着陣……上卿又令參議書檢校文一枚、行事文一枚〔已上依巡定之〕、又仰弁令陰陽寮勸申日時〔依一日事不動儲時〕、弁奉日時勸文〔發願時刻、結願時刻有懸紙〕、上卿暫留例文等於座、以可奏文書入筥付弁若藏人令奏之〔有闕白時、仰先可内覽由。撰政時以覽撰政為奏聞。日時勸文、僧名檢校文等也。行事文留不奏〕……弁先結申僧名、次結申日時、上宣勸申〔若有兩日、可仰定日〕……行事弁以下申大袈出居等日時、載於一紙。……

（頭書）不動儲時。北山云、依一日事不動儲時事。雖不具先守時刻令打鐘。

仁王会

当日行事着八省東廊。或巡檢諸堂〔極熱之比、無此事〕、上卿召弁被問僧參否。參具了仰行事弁、令打鐘。上宰相着座、次僧昇〔經庭中〕、次堂童子着座。朝講畢行香……夕講始間、上卿以下他弁少納言參内。行事者夕講畢同參内、可參会南殿行香。……

同禁中儀

上卿以下着陣、召外記問諸司具不〔左右近衛堂童子図書官人等類也〕、召弁問僧參不。**刻限到テ令申可始講由**〔以藏人若殿上弁申〕、仰弁令打鐘〔弁若不候者召史於小庭仰之〕、諸堂応之、皆打之。次定可候南殿之納言參議各一人〔……〕、着南殿云々〔若有地下人者、件人可着。若当御物忌者、雖下薦籠候之人、候御前〕、次公卿經階下候殿上、出居昇〔昇自右青瓊門〕、公卿着御前座。威儀師引衆僧參上〔入自仙華門〕、……対揚講説朝座畢僧退下、公卿退下、出居退下。次上卿仰弁令擊鐘〔弁可仰内蔵歟。是春時御殿彼寮可飾也〕、次夕座如前。……

南殿〔……〕

出居昇〔……〕、公卿昇〔昇自東階〕、從儀師引衆僧參上〔昇自西階〕、……対揚講説事畢僧退、公卿退、出居退。次令打夕座鐘。次夕座如前。……

羽林抄曰、南殿儀……。

応和元年十月、依納言以上不參、參議朝成令奏自事由、就南殿行事云々。又曰、**午一剋未打鐘**。藏人珍材申、公卿未參南殿、堂童子未參入。仍不始事。令仰云、須待刻限鐘之後、可催他遲怠事。仍參議朝成令打。故資平大納言曰、仁王会雖未被始御殿事、南殿事具者、南殿上卿且行会事退出。是前例也。

⑤『江家次第』卷八・秋季仁王会〔大極殿〕

……西登廊第二間懸鐘。昭訓門外南腋設公卿以下座、如御齋会時。公卿先着昭訓門座〔近例檢校外不參、可怪。或説大弁猶可參之。又不見〕、上卿召外記問諸司具不〔……〕、召弁問僧具不〔如他御誦經者、不滿本数始之、至仁王会者皆參後始之〕、次仰可令打鐘由於弁〔**雖僧不足守刻限令打耳**〕、……若南殿事已始者、行事上卿可參御殿。若当御物忌。若南殿事未始、上卿最未人者可着於南殿歟。……次打夕座鐘〔於軒廊仰之〕、……

(28) 2月季御誦經(8月)

③『西宮記』卷五・季御誦經事

……

僧名定事

上卿奉仰、着陣定僧名〔一大臣有障者、中納言已上、依宣旨行之〕、**行弁召陰陽寮、令勸申日時**、史進例文硯、……定了、**副日時勸文奏聞**〔付殿上弁若藏人返給、下行事弁、々史催雜事〕、……

仰弁令擊鐘事

刻限上卿仰弁令擊鐘〔懸承明外、臨時懸射場殿〕、左右出居昇〔居階左右縁、依上卿氣色、出居懈怠〕、王卿參入上、……康保三年八月二日定法

④『北山抄』卷九・羽林要抄・季御誦經

南殿儀

時刻槌鐘左右出居次將昇自東西階〔……〕、着南簀子座〔……〕、王卿着座、僧侶參上……

⑤『江家次第』卷五・季御誦經事〔……〕

上卿奉仰着陣〔大臣有障者、中納言以上依宣旨行之〕、**仰弁令陰陽寮勸申日時**〔**禰願日時、結願日時**〕、又仰弁令進例文硯〔史二人進之〕、例文〔……〕、硯〔……〕、上卿披旧定文令參議書之〔大弁

書之。若無者他參議。或有令弁官書之例]、……

定了副日時勅文、入筥奏聞[付殿上弁若藏人]、返給、下弁。々先結定文[上卿仰、宣旨給之]、次結日時[上卿仰、可依勅申]、……

季御読経

当日上卿以下着陣、召外記問諸司具否[図書堂童子。南殿出居次将等也]、召弁問僧參否。次奉仰定申御前僧[或雖無仰定申云々]。仰弁令進例文硯等[史二人進之如恒。……]。令參議書之[……]、令藏人若殿上弁奏[入筥]、返給[下弁]、**剋限至**、上卿仰行事弁、令鐘撞[件鐘季御読経時、懸於承明門外云々。今案永安門外歟]、右近衛開永安門、大臣於陣差定可候南殿之納言參議等[……]、次王卿參上御前、左右近次将着南殿簀子敷座[……]、

次納言參議各一人、着南殿、次僧侶參上[……]、

座定差定法用。……先須(唄力)三礼[西者祝願]之後、行東西ノ第一行僧。不行自余僧。図書官人取火蛇相從。王卿復座。從儀師跪仏前、差御導師等[出自西方、差之。夕座初夜半夜晨朝明日朝座等御導師也]、僧等退下、王卿退下。出居下。王卿着陣饗[近例不着]、……

(29) 2月上卯大原野祭

② 『儀式』卷一・大原野祭儀[春二月上卯日祭之。冬十一月子日祭之、若子有三、用中子、有二子、用下子]

祭日平旦、所司供張如常。神祇官率物忌等、装束神殿。……

③ 『西宮記』卷六・大原野祭

……着直会殿[……]、神官散祭[散米也]、迴御馬[八度]、官人口取飲神酒。近衛府使等舞。上卿召召使[二音]、召使立[立西三間北面。**入夜問之**]、上卿云、宮内[乃]省[左]召[せ]、……

④ 『北山抄』卷一・上卯日大原野祭事[……]

……次神主読祭文。次牽迴御馬。次東遊[若近衛府使遲參、必不待之]、次上卿召召使[二音]、称唯參入[**入夜問之**]、上宣、宮内省召。……

(30) 2月上申春日祭(11月)

② 『儀式』卷一・春日祭儀[二月・十一月上申]

前祭預令陰陽寮撰定祓日時及方地。前祓一日、弁官仰所司、立幄於河頭。祓日、**時刻**齋女駕車向祓所。其儀也、……前二日、**早旦**神祇官一人率神主・神琴師・神部・卜部等。掃部官人率掃部等。内膳官人率膳部・仕丁・仕女等、向社行事。前一日**鷄鳴**齋女駕車參社。……**祭日平旦**、神祇官人率物忌童女、掃除神殿内、神部等裝飾神殿、以神宝立殿頭及垣辺。所司供張如常。……

④ 『北山抄』卷一・上申春日祭事

……次上卿召召使。称唯參進[**臨暗問之**]、……

⑤ 『江家次第』卷五・上申日春日祭事

……上卿召々使〔二。無上卿時、弁召官掌〕、召使称唯、立直会殿西妻〔当庭中。儀式南妻。若臨暗時、上卿問曰、誰曾。召使称姓名〕、……

雨儀〔被〕、……天元五年十一月八日〔右少弁惟成〕雨。遷於着到殿東壁外座〔云々〕、酉刻、中納言文範并祭使右中将実資、氏大夫等、着南廂解除畢。上卿諸大夫着々到殿。

(31) 2月春日祭後丑・園韓神祭(11月)

②『儀式』卷一・園并韓神祭儀〔二月春日祭後丑、十一月新嘗祭前丑〕

其日早朝、神祇官率神部・卜部・炊女等、向於神院、弁備供物。……内侍就座〔二月戌一刻、十一月酉三(二イ)刻〕、次大臣就座。次諸司依次就座、神祇官供神饌。訖神部二人執賢木、建於庭中、即燃庭火。……

⑤『江家次第』卷五・園韓神祭〔……〕

(頭書) 儀式二月戌一刻十一月酉二刻。

……次糸系竹音迎山人。左右衛士、山人申畢取薪置南北炬屋〔主殿寮燃庭火〕、……

3月

(32) 3月1日鼓吹生試

②『儀式』卷九・三月一日於鼓吹司試生等儀

当日平旦、司率鉦・鼓等師并生等、區別行事前庭并立標。其制也、……巳一刻右弁并史率史生・官掌等就座。……訖更三師率生等列塞陣〔大角生左右各列外極徑、其次第生一人立第一町。以下隔一町列立。其以內第二・第三徑并列小角生。其列立之儀、一同大角生〕、訖吹部一人進就版〔謂之節申〕、申云、將軍之処〔爾〕常〔爾〕吹鼓・鉦置〔天〕朝・日中・夕・夜半・鷄鳴之時〔止〕、鉦三段擊。大角一節吹、小角一節吹〔久〕、擊鼓初音細〔久〕、中大〔久〕、擊鼓二十四手〔遠〕、一節〔止之天〕、二行半擊〔八〕、擊手数六十手、次〔爾〕小角一節吹〔久〕、此者時〔止〕申〔須〕、……

(33) 3月3日御燈

①『江家次第』卷六・三日御燈事〔九月同之、廢務〕

……其儀先垂東廂御簾〔返孫廂御座間燈樓網〕、孫廂南第三間鋪小筵二枚。其上供半疊〔北面〕、東庭鋪菅円座為宮主座〔……〕、先供御浴〔用新御帷〕、時刻出御〔御位袍藏人頭囊御簾。藏人奉御笏。若無頭者、五位藏人亦得。入筵蓋參入自孫廂。自御後奉之〕、……

(34) 3月中午石清水臨時祭試樂

⑤『江家次第』卷六・石清水臨時祭試樂

……主上入御。若及暗者主殿官人入自南北戸、供炬火、不供御前御燈〔装束……当日鷄鳴、行事藏人、以舞人陪從装束、懸大盤所渡殿等。……臨時祭三月中旬日。有二午時用下午。但除国忌日。賀茂臨時祭十一月下酉日。延引之時於藏人所令勸日時。〔石清水及四月、賀茂及十二月〕〕、……

4月

(35) 4月1日二孟旬儀（10月）

④ 『北山抄』卷九・羽林要抄

二孟旬 太子参上儀可記載

時刻、御南殿。……親王参着〔西面北上、上臈後参者、下臈起座退下、上臈着南廂後、着母屋〕訖。

……

⑤ 『江家次第』卷六・二孟旬儀

御装束

其日平旦。掃部寮女官、上紫宸殿御隔子懸御帳帷、壁代〔冬旬用之〕、内匠寮立御障子〔以上藏人行事之〕……

今日王卿出居并侍從等皆着靴。……**時刻**出御南殿、次開門……

(36) 4月7日擬階奏

② 『儀式』九・四月七日奏成選短策儀

式・兵兩省預造八位已上擬階簿。四月一日、進太政官、官即勸会、更造奏文。**当日平旦**、輔已下・省掌已上賣納短冊櫃。候於宣陽門外待大臣。……

（四月十五日授成選位記儀）

……**其日早旦**、二省録各率史生・省掌等、就官曹司序、各立標。……

(37) 4月8日御灌仏事

⑤ 『江家次第』卷六・御灌仏事〔……〕

……**当日早旦**御浴殿藏人奉仕装束。……

(38) 4月28日駒牽

② 『儀式』卷八・四月廿八日牽駒儀〔小月廿七日〕

前一日、所司整設武徳殿。**当日早旦**、皇帝御殿〔諸衛服下儀〕……

③ 『西宮記』卷三・廿八日駒牽〔……〕

天皇幸武徳殿……**日暮**入御。王卿車駕還〔無鈴奏〕。雅樂奏駒形、御南殿。鈴奏。名対面〔次將同〕〔……〕

④ 『北山抄』卷八・大将要抄・駒牽

早旦乘輿〔花輦〕出宜秋門〔承明陰明門間、臨時定之〕幸武徳門。……

(39) 4月上申・平野祭（11月）

②『儀式』卷一・平野祭儀〔四月・十一月上申〕

其日平旦、所司供張如常。弁大夫及外記・史各一人、先參行事。神祇官弁備神机四前、膳部〔以神部為膳部〕十六人舁机供之……大臣喚召使二声、召使称唯。出自西方、差進立舍西北角而北面〔若日曛間、阿誰、召使申姓名。下皆倣此〕……

⑤『江家次第』卷六・平野祭〔平野祭上申日……〕

……上卿宣召召使。召使称唯出自西妻、立於屋北西角〔北面。西宮抄良面。或雨儀立庇下。若及暗者、先名对面。他皆准之〕……弁宣、宮〔乃〕内〔乃〕司召〔セ〕若入夜者先有名謁如恒。……同臨時祭儀

早旦御湯殿依神事内藏進新御帷。藏人奉仕御装束……時刻出御〔位服。後三条院令着挿鞋給。而故源右府被申云、除着御倚子之外更不然。其後不着御〕……宮主入自仙華門跪於長橋北河竹南、獻御麻。頭跪取之。經前路献主上〔猶取本末〕主上一撫一吻返給之。宮主給之着座。……

上卿着陣……次使退出〔經南殿北廂〕……使參社頭……歸迴御馬〔及暗主殿官人等儲炬火〕……同使儀

四月十一月上申日

早旦御湯殿如恒〔御帷召新〕

舞人陪從等於右近陣饗膳

藏人奉仕御装束〔下東廂御簾、返第三間燈樓綱、或皆返之〕同間北敷小筵二枚〔東西行〕其上供高麗半帖一枚〔北面〕東庭当南第四間敷葉薦〔東西行〕其上立案二脚、置御幣〔各二捧〕当御間庭、敷所司円座二枚〔一枚宮主料、一枚使料、頗巽退〕刻限以前待上卿。若刻限過者差内豎召上卿一人。主上出御〔位袍御挿鞋〕藏人頭献御笏〔……〕次供御贖物〔……〕……

(4) 4月上申・松尾祭

②『儀式』卷一・松尾祭儀〔四月上申〕

前祭一日、所司供張如常。当日詰旦、山城国司一人率当郡司并騎兵等參候。弁・史生・官掌等就行事座。于時物忌并内侍已下来、就東門北掖舍座。……

⑤『江家次第』卷六・松尾祭〔四月上申祭、弁不參云々〕

……当日早旦山城国司一人、率郡司等參候……

(4) 4月中西日賀茂祭

①『内裏式』中・賀茂祭日警固式

……先祀一日、……諸衛來集。即大臣上殿、喚内豎宣、喚候司司。内豎称唯、出喚諸衛。若夜喚之、諸衛各称名、如行在所將軍等之儀。……酉日巳一刻、使等就内侍申退状、即給祿〔四位已上御被、五位御衣〕此時喚男女使等、被馬〔各有從者〕令度殿庭、訖会内藏寮饗賜之。巳三(二イ)刻豎向。其夕使等就内侍、執申祀状〔或時明日(旦イ)申之〕戊日早旦、大臣令内侍奏解陣之状。於陣辺使内豎喚諸衛解陣〔雖無朝使、其儀亦同〕

②『儀式』巻一・賀茂祭警固儀・賀茂祭儀

賀茂祭警固儀

未日大臣昇殿、奏可警固之状。……大臣宣、喚候司司。内豎称唯、出喚護衛、称唯禊入。列立南階以東、北面西上[若夜喚之、大臣問、阿誰。諸衛依次称官姓名]、……**戌日早旦**、大臣奏可解陣之状。訖令内豎喚諸衛解陣。其儀如初[雖無祭使、猶用此儀]

賀茂祭儀[四月中西、若有三酉則用中西、有二酉則用下酉]

前祭擬祓、弁官仰陰陽寮、預祝吉日。先禊二日、率齋院司・陰陽寮及供奉諸司、到鴨川占定其地奏之。前一日、所司臨川供張如常。其日……**時刻**齋王駕車赴向。……齋王已到幕底、臨流而禊。神祇官中臣捧麻、進授院司。……既而齋王迴駕。**祭日卯四刻**、奉幣使等就内侍奏參社之状、皇帝覽使等乘馬[各有從者]。訖賜祿各有差。内侍已下与使等共向内蔵寮、於庁事前解除。以松尾社幣、使(便力)付祢宜・祝等。即使等兩段再拜、各就座[先是掃部寮預設座。主水司饌事]、内蔵寮供饌行酒。訖使等相引到北辺路、待齋王発。……**時刻**齋王駕輿而出、其前驅次第也。……齋王先詣下社。……上社次第行事如此前。但齋王就社前右殿座。

④『北山抄』巻一・中申西賀茂祭事[酉日廢務。祭停止時、尚有廢務]

酉日於南殿覽被馬事

……**時刻**出御、内侍召人、公卿次第參上。……

⑤『江家次第』巻六・齋院御禊点地

……陰陽寮点禊地。……**可点齋院御禊地日時**。行事所勘之、渡本院。不覽上卿。彼日本院設饗。……

賀茂祭警固

……上卿着陣。……上卿仰云、候[布]司々召[セ]、内豎出召。六衛府將佐入自日華門列立軒廊南[……]、**若及暗者**、上卿先問云誰。六府次第称名。……

賀茂祭使[依東対儀注之。自余准可知]

……路頭次第

歩兵左右各四十人、騎兵左右各六十人、郡司[八人]、一人[介亦傳]

内蔵御幣……供膳韓櫃三荷 雜器物二荷 膳部六人、**陰陽寮漏刻** 騎女十人 童女四人、……

(4) 4月20日以前・郡司読奏

①『内裏式』中・奏詮擬郡領式

当日朝饌後、近衛次将一人率掃部寮設座。……**巳・午間**、内侍臨檻曰、喚之、大臣称唯、參議已上共參上、就殿上座。……

②『儀式』九・奏詮議郡領儀

式部省預前対試才能、計会功過。三月廿日以前、輔若丞成案。令史生写、并造勘文四卷。訖申可奏之状於太政官。外記申大臣。定四月廿日以前吉日仰之。前一日儲備筥四合[一合納奏料、一合納硯料、二合納文料]、**当日早旦**、近衛次将一人率掃部寮設座。……**辰刻**輔已下令持文簿候内裏、**巳・**

午之間、内侍臨東檻、喚大臣。称唯。參議已上共升就座。次卿升就座。……

(太政官曹司序叙任郡司儀)

……**当日早旦**、掃部寮設輔已下座於南門之内〔録以上座設門内東、史生座西方〕。輔已下・省掌已上就座而候。弁官未申政之前、丞執除目簿、至庁事北屏下、付外記、令執進大臣。弁官申政。了内記以宣命文、自西戸進大臣退去。……

③『西宮記』卷三・郡司誦奏

上卿着陣……次丞置擬文筥……輔參入〔仰外記召之。或不待召、輔取擬文、副笏、自宣仁門入着座〕。上卿披文〔乍入筥披之。入夜者可左右〕。上卿目輔令誦。……

5月

(43) 5月5日端午節

①『内裏式』中・五月五日觀馬射式

……**其日未明**、中務省置尋常位於庭中。兵部省置奏事位於埦東門南掖。……**平明**皇帝出宮就御座、諸衛服中儀、警蹕・侍衛如常。……**午刻**内膳益供〔上下群臣起座〕。主膳益供、大膳益賜、皆如常節。……**日暮**上下群臣各於前拝処、再拝退出、車駕還宮。

六日觀馬射式

早旦御武德殿、警蹕・侍衛如常。諸衛無儀服。殿上座饌等具所司式。皇太子出入如常。……今日無六位以下座……**日暮**迴駕

②『儀式』卷八・五月五日節儀

……**前二日早旦**、四衛府就木工寮、各請騎射料的。前一日、所司供張於武德殿、御座南去一許丈、北面設皇太子座。……**当日寅一刻**、兵部省輔以下就座〔掃部寮預設座於八省院西廊〕。点檢五位以上。**未明**中務省置尋常版位於庭中、彈正忠・巡檢察以下就朱雀門西仗舍座、糺彈非違〔南面東上〕。兵部録率史生・省掌等、計列五位以上所貢走馬。所司設御饌并上下群臣饌如常。**平明**皇帝御武德殿、諸衛服中儀。警蹕・侍衛如常。……**午刻**内膳益供御饌〔上下群臣起座〕。主膳益供東宮饌、大膳益賜群臣饌。……**日暮**上下群臣各各於前拝処、再拝退出、車駕還宮。

六日儀

其日早旦、御武德殿。警蹕・侍衛如常。諸衛服下儀。殿上座饌・皇太子及親王已下升降并謝座・謝酒等如常。……自余四位・五位著庭中幄座〔此日無六位已下座〕。……

③『西宮記』卷三・供菖蒲

四日夜、主殿寮内裏殿舍葺菖蒲〔不見式〕

五日早旦、書司供菖蒲二瓶〔居机二脚、立孫廂南四間生。近代不見〕。……天皇出御……**日暮**上下

群臣於先拜所再拜退〔近年不拜。依不訖歟〕、車駕還宮、雅樂奏樂〔可在拜前、而還宮時奏之〕、……
六日幸武徳殿……日暮入御。王卿列立。還宮間雅樂。且行奏蘇芳菲、駒形等〔到宜秋門停止之〕

(44) 5月最勝講

⑤ 『江家次第』卷七・最勝講〔(頭書)最勝講。寛弘六年以來被行也。……講五ケ日。兼日有日時僧名定等、於昼御座被定之。無陣儀〕

時刻公卿等參入候殿上。次上卿依仰、々殿上弁、令打鐘〔或仰行事藏人非也云々〕、次出居次將等參上〔……〕、次公卿參上着座。次威儀師率衆僧參上〔……〕着座。次講読師着礼盤〔……〕、次講読師登高座〔……〕、次堂童子着〔……〕、次打磬〔二〕、次唄……次夕座打鐘。次僧等參上同前〔… …〕

6月

(45) 6月1日忌火御飯(11月・12月)

③ 『西宮記』卷四・一日、内膳司供忌火御飯

……進物所例云、六月一日早旦、供奉忌火御膳、四種例銀器、御菜用土器御盤、四種、二干物、四種御飯片堦。

④ 『北山抄』卷二・朔日供忌火御飯事

内膳司、早旦〔御粥以前〕、付采女、於大床子御座供之。用御大盤一脚、不称警蹕。……

⑤ 『江家次第』卷七・忌火御飯〔六月、十一月、十二月一日早旦供之。内膳司〕

……西宮記云、進物所例云、六月一日早旦供忌火御膳四種、例四種。……

(46) 6月1~10日御体御卜(12月)

① 『儀式』卷五・奏御卜儀

……其日平旦、主殿寮樹幔於殿庭東西。掃部寮立大臣床子一脚於殿上〔御座東南去二許丈、西向〕、……

④ 『北山抄』卷二・十日奏御卜事〔……〕

……天慶六年六月納言以上不參。參議忠文朝臣依召參入。丑(巳一本)時奏之。參議奏例未聞。然而依納言不參、臨時所被仰也。〔九条記、忠文朝臣令付内侍所之由、見外記之記〕、……

⑤ 『江家次第』卷七・御体御卜〔六月、十二月十日。此日不可官奏、延長二年左大臣仰。邦基卿記〕

……納言以上不參之例……天慶六年六月參議忠文依召參入、丑時奏之。參議奏例未聞。然而依納言不參、臨時被行也〔忠文朝臣令付内侍所〕、……

延引例 …… 治曆四年六月延引、上卿奉仰、令勸日時、後日行之。……

(47) 6月11日神今食(12月)

② 『儀式』卷一・六月十一日神今食儀[十二月准此]

前祭三日、中務省差定可供奉內舍人。前一日、**早朝輔**・丞・録各一人率史生・省掌等、就神祇官南舍座[掃部寮預設座]、点檢次侍從以上、就中小齋十人……**当日平旦**、主殿寮供浴湯。**辰刻**輔若丞一人執小齋次侍從以上名簿、付內侍奏之。月次祭畢。……神祇官參神今食院[謂中院]、內膳・造酒・主水等司受備供御物、參祭所供奉。……**戌一刻**[十二月用酉一刻]乘輿御神今食院……**亥一刻**薦御膳。……**四刻**撤御膳。內膳・主水官人各一人進申云、夕御物平供。宮內丞命云、縱。**寅一刻**供曉膳。其次第如初。**四刻**撤御膳。近衛開門。……**卯一刻**換御服、還御本宮。訖祭大殿。……

③ 『西宮記』卷四・神今食[於神祇官、依例卜食親王以下小忌]

上卿著南舍[……]、外記置式筥[或申代官]、**使部申時**。供神物弁備。王卿已下向北舍[帶劍人解之。主水司供水]、親王執打拵筥[無親王者、次人々執之]、納言參議昇坂枕[納言東卷薦為枕]、弁少納言已下供御置[……]、了可還南舍[**亥**供御膳、**了**又供曉膳。旧例、待曉膳之間、或有困暮。冬以衾纏腰]、**丑**(「寅」)時供曉膳。王卿撤御座等如初儀。采女參內、奏夕曉御膳供了狀。中院儀[有方忌者早還御(或有方忌不御)、天曆元年十二月無行幸、納言以下着中院行]

小忌事

当日早旦、出納書侍臣名數、差小舍人遣神祇官、令卜小忌合不。還來之後、大忌人等、皆悉退出。又藏人書女藏人名數、召出納給內侍所。彼所遣神祇官。同令卜之[頭御厨子所別當候御浴、人不卜。行幸處從留守如恒之]、內藏寮賜酒饌、殿上侍臣所雜色如恒[但女藏人內侍等、只給酒肴]、**早旦**主殿供御浴。內侍女藏人到宮內省、令卜可供奉女官[近代以女官送夾名、見上也]、御卜了。內膳兆人簡、付內侍。々々不候者付藏人。御覽了、返給。官外記令卜王卿以下、**入夜**殿司供替忌火[不合御卜、人々未及炷忌火退出]、**戌時**、天皇[……]幸神嘉殿[……]、御輿倚殿中間[……]、主上入自西戶、御西隔殿內[張承塵立床也]、女官入自北戶、候西隔北戶前、殿上人候殿西北砌上、御厨子所候北舍、小忌人着西舍[……]、主殿供御湯殿[……]、**亥刻**開門[闈司着座、大舍人叫門、闈司奏勅、奉入礼、闈司伝。近代并無勅答云々]、小忌供神座[**采女申時**。王卿出自西掖門。……奉神御衣、內侍供之。**采女申時**。縫司供御衣履、內藏供幘、主水司令供御手水、主上自中戶入御中湯殿云々]、采女供神膳[宮主立前、氏々列立如式]、小忌王卿歸本座[近衛閉門。天皇洗了。還御寢所、內侍率縫司等、撤寢具、**曉**又供。**采女奏時同夕儀**。了還寢內]、曉膳畢[**時守丁立小忌座**、**奏時**云々。采女參殿南西戶下、申云、阿佐女、采女、主水、夕曉御膳平久供奉之申。勅云、好。次改御衣]、開門[叫門闈司奏如前]、王卿已下撤神座[……]、還御[……]、御南殿[……]、

御厨子所例云、……次神祇官祭大殿、官人率御巫座摩等參上。祭御在所、御湯殿、御裝物所、御厨子所、還到御在所巽角、忌部微声誦祝詞。及紫宸殿、**明旦**主殿寮供神事御手水、其儀棚一基、……次主水司供御粥、副和布御羹[盛中堦、**早旦**主水司請御粥堦一口、馬頭盤、并御箸匕等、自藏人所給]、陪膳**未明**裝束參上。藏人供之。……

延喜十八年六月十一日、……此夜於神祇官、行神今食事云々[昨日有淑景舍犬死穢、仍不御中院。付所司被行]

……

延長四年十二月十一日甲午云々、今日神今食、依内穢、諸司行之。**丑四刻**。神祇官參入。奉仕御殿祭事。

同七年十二月十一日、内有犬産。今夜依穢不御中院。**寅一(「二」)刻**神祇官參上。有大殿祭事云々] ……

弘仁十四年十二月廿八日宣旨、「云」、**戌一点**御齋院[十二月用酉]、**寅二点**還宮[十二月用卯]、**卯一点**宮内。神祇候延政門外[十二月用辰一点]、**二点**叩門參入。祭御殿[十二月同]以前、右大臣宣、永以為例[少外記都宿祢広田麻呂奉]

④『北山抄』卷二・同日神今食[……]

……内膳司、兆人簡、付内侍令奏[内侍不候者、或付藏人]、覽畢返給。**入夜**殿司供替忌火[不合御卜之人、未供此火之前退出。大忌王卿、度階下向大忌幕。或直參其幕。雖合小忌、在敷外者、又同就之。中和門外、立幄為座。東西面、对座、上卿西面。**寅刻**(神道大系「巳刻」)、左近将曹以下、来申宿侍於大将]、**戌刻**、御腰輿、幸中和院。内侍司印櫃[以此称契櫃之由、見天德四年記]并鈴韓櫃[不奏]、持候如常[但太刀不候]、小忌王卿供奉、諸衛不称警蹕。……御輿輟於神嘉殿南階上、王卿立西炬屋南方[西宮記云、列立炬屋北边、云々可尋]、天皇下御輿、入南廂西戸、親王以下着小忌座……**亥一刻**、**采女申時**。至供御膳儀、見内裏儀式并清凉抄。待曉膳之間、於小忌座、或有困甚之興[……]、又有時議、開領[冬祭、縫殿寮以白衾、纏王卿以下腰、謂之腰衾]、**丑刻**、**采女奏時**、供曉膳訖。……**明旦**所司、供解齋御手水御粥。其後、不合小忌侍臣等參入。……依有方忌、不出御例[延喜十三年(神道大系「三年」)六月、左大臣申云、前代不忌。貞觀以來有此事。法皇御時、忽進曉饌。以避忌。供神饌時刻存式。而早速云々。未為得。令所司供奉、有其例。此度不御有何事云々。天慶二年六月九条記云、中宮仰云、延喜御代、雖方塞、不被忌、未及寅刻還御云々。參殿執申、仰云、或不被忌、或付所司、案之、雖不出御、可無殊難者、不出御由、仰外記畢云々]、雖有方忌、出御例[天慶三年十一月、天一在西、子三刻還御。天曆九年十一月、天一在卯、子時以前可還御者、同十年十一月、丑一(一イ三イ)刻還御。天德三年十一月、丑二刻還御]

……不候宿神祇官、大殿祭例[承平六年七月三日、御物忌例、候中隔奉仕之。而官人皆申故障、史一人奉仕神祇官祭事。仍夜半以後、可奉仕之由、仰畢。応和二年六月、曉更供奉]

④『北山抄』卷八・大将要抄・神今食

時刻御腰輿、幸中和院。不称警蹕、不奏鈴、而候之。……

⑤『江家次第』卷七

中和院神今食装束[新嘗祭并十二月神今食同]……

神今食次第

戌時御腰輿、幸中院。内侍司印櫃并鈴韓櫃[不奏]持候如常[但太刀不候]、小忌王卿供奉、諸衛不称警蹕。乘輿出陰明門之間、候大忌幕王卿[北面西上]、及諸司諸衛皆立各幕前。……近衛閉門。縫殿司供御寢具。**亥一刻**、**采女申時至**、供御膳、儀見内裏式。**丑刻**、**采女奏時**。供曉膳。訖采女申御膳平供奉之由。勅答[云々]、近衛開門……

神祇官神今食

戌一刻、上卿以下着神祇官南座〔入自北門〕……使部申時。神祇官人申供神物弁備畢由〔亥一刻〕王卿以下各起座、向神殿〔或一獻後〕。……上卿以下還南屋勸盃〔……〕。神膳供畢撤之。撤寢具〔可尋之〕、丑一刻、又供寢具、供曉膳、撤寢具。王卿以下參上。……

神今食〔又說〕……亥刻上參議參神殿、於幔外洗手。……使部時申。亥一刻供夕膳。丑一刻供曉膳。事畢上卿以下又參入。撤宮枕御座等。准上可知。寅刻退出。……

解齋事〔謂六月、十二月十一日後曉、十一月中卯日後曉〕

平旦主殿司自御湯殿方供御手水……有行幸時、昼御座御格子皆上之〔平明還御、仍今夜不下格子也〕……

(48) 6月晦日大祓(12月)

②『儀式』卷五・大祓儀〔六月・十二月並同、但臨時大祓者、不令申刀禰數札、直令進〕

其日午四刻、神祇・宮内・縫殿等官省寮候延政門外、百官會集祓廬。……未一刻外記已下各就座、自余諸司屯立東仗舍東頭……

③『西宮記』卷四・御贖物事

当日晚(「曉」)所司供奉〔……〕御裝束於御殿。時刻出御。中臣、節折、縫司、宮主、文人等候〔見藏人式、雨儀、於庇南一間供之、官人候廊下〕……

④『北山抄』卷二・同日大祓事〔近例、只用雨儀、若閏月、其月行之〕

朱雀門第一二間、曳幕、設内侍座。東三間設日上座……酉刻〔或(式イ)云、未刻〕諸司會集。參議昇自東第二階着座。……

⑤『江家次第』卷七・大祓〔六、十二月晦日行之。若有閏月、其月行之〕

……酉刻〔式云、未刻〕諸司會集〔雨儀昇東階〕……

⑤『江家次第』卷七・六月晦日〔十二月准之〕

……藏人式云、晦日諸司供奉荒世和世御裝束……時刻出御、諸司隨次供奉。事畢退出……

清涼御記云、晦日御贖物事……当日晚景諸司供奉〔藏人催神祇官召文氏主殿掃部縫殿等〕裝束於御殿。時刻出御。先是節折藏人、縫殿司、齋主、宮主、東西文人等祇候〔……〕縫殿寮官人昇豆々志呂比御服……天皇着給氣息。即以返給。……

相当物忌之時事

天祿元年六月卅日、相当御物忌。而行事藏人遠度〔五位〕失不召仰諸司。召問主兼延、申云、不可改他日。……仍夜半行此事〔云々〕、又小一条太政大臣御時、故右大弁相職朝臣、以夜半行之〔云々〕……

延久二年六月晦日、御出以前皆消火畢。而依被仰暗之由。一燈樓許居御燈盃。御出之間又消畢。但燈盃居長押下。事畢後如本供奉御燈等。大舍人助時房行事也。……

7月

(49) 7月7日乞巧奠事

⑤ 『江家次第』 卷八・七月乞巧奠事

……立黒漆燈台九本於件机四方四角并中央〔加打敷、謂之九枝燈〕内蔵寮供御燈明〔用土器〕件中央燈明有兩説。或向北、或向御前。召内侍所粉五合、散机上及筵上、立殿上御椅子於庭中〔或無之〕為覽二星会合也〔令殿上侍臣結番〕窺之。……或有御遊御作文等事。々了給祿、**及曉更撤之**。事了下格子〔雖違（遅力）明猶下之、亦上云々〕

(50) 7月14日御盆事

⑤ 『江家次第』 卷八・御盆事

行事蔵人兼日成内蔵寮請奏。々下成迴文、催雜色以下。**当日早旦**、主殿寮供御湯。……若当御物忌者、**夜前可籠之**〔蔵人迴仰役人〕……

(51) 7月27～29日相撲召仰

① 『内裏式』 中・七月七日相撲式

……**此日早旦**、乘輿御間、衛仗服中儀服。警蹕・侍衛如常儀。御饌并群臣饌等弁備如五月節〔兩相撲司大夫酒器各安其幕北頭〕……此日相撲人惣廿番〔近衛・兵衛合十七人、白丁二人、童一人〕**日暮**上下群臣於先拜処拜退。次乘輿還宮。

八日相撲式

此日辰四点、御紫宸殿、衛仗服当色。御座饌并群臣座饌等、預弁備如常。事在所司式。……**日暮**拜退及相撲之儀与七日同。此日相撲廿番〔近衛若兵衛十人、白丁十人〕

② 『儀式』 卷八・相撲節儀

……**当日寅一刻**、掃部寮設兵部輔以下・省掌以上座於便处。訖史生已上就座、五位已上就版受点。……于時乘輿御殿。……**日暮**上下群臣拜而退去、次乘輿還宮。

③ 『西宮記』 卷四・十六七日相撲召仰

……内取〔……**入夜者**各本府舍人秉燭。……〕天皇出御、次將向陣召上卿……

一、大節 先一日於東庭覽占手童〔……〕**当日曉**、乱声〔……〕

早旦、幸武德殿〔有鈴奏〕諸衛就胡床、王卿以下就外弁幄。左右次將垂簾〔所司兼上也。今垂之、昇自左右階〕……**暮**有勅止楽。左右親王以下列立幄前、相揖退。發退音声。挽標加入。群臣於先所再拜退、還宮（「家」）

廿六日、**辰四刻**、御武德殿〔旧例、後日無行幸、延喜十三年有行事〕王卿率就殿西幄〔侍從經左（近イ）仗〕内侍出。王卿以下列入。……

一、節代

廿七八日、装束南殿、左右大鼓各五面、候日月華門〔三面在門内。三面門外。**当日曉**於建春宜秋門

乱声。然後參日華等門] 天皇出御、左右乱声……

一、召合

……天皇御南殿[太子參上]。内侍出、王卿參上[無大臣大将者、出居次将昇]。……十七番取了[……] 勝方乱声[……] **晚頭**撤張筵[……] 王卿候簀子敷、事了退出。

④『北山抄』卷二・相撲召合事[大月用廿八九日、小月二十七八日、召仰事、在備忘卷]

前二日、有内取事、於仁寿殿覽之。……**臨暗**者、府官人秉燭。

当日巳刻御南殿。内侍召人、大臣之大将先參上[若不相兼、大将応召參上]。……十七番畢[**日暮**者、不必究数止之] 上卿復本座。三府土居退入。勝方乱声奏舞[……又奏他舞、**日暮**樂止] **晚頭**有勅、令撤張筵……

後日、**時刻**御南殿、内侍召人、王卿以下參上如昨。……次拔出二番、……次追相撲。……

④『北山抄』卷八・大将要抄・相撲召合[……]

前二日、有内取事、於仁寿殿覽之。……**臨暗**者、府官人秉燭[御物忌時、於清涼殿覽之、左候北、右候南、近例、左同候南云々] 当日左大将於宿所定手結事[……] 若有相撲人樂人等可補近衛者、**早旦**修奏文、次將奏之……

④『北山抄』卷九・羽林要抄・相撲召合

……先二日、有内取事。**時刻**御仁寿殿、次將[不帶劍]持候御劍[左腋候之、旧例或候御後。其御路、敷縁道、人不敢踏、他効之] 着御之後、置大床子御座右。……次相撲[旧例始自下、仍最末者、便留相撲、以爪注勝者上。若**日暮**、右又始自上、近例左右共始自上云々] 畢大将退下、即喚右大将、其儀如左。但入自華德門、候北。仍東向後、令南向。若**臨暗**者、当府官人秉燭[御物忌時、於清涼殿東庭御覽、近例左候北。右候南。旧例左同候南云々] 当日次將早參定手結事[左大将於宿所定之]。……若有相撲人樂人等可補近衛者、**早旦**修奏文奏之……**巳刻**御南殿、内侍召人、大臣大将先參上……十七番畢[若**日暮**、不必尽]……

後日天皇御南殿。内侍喚人、出居以上參上如昨。……**臨晚**、王卿移候南檻……

⑤『江家次第』卷八・相撲召仰[前十余日、被仰]

……十五番畢……若**及暗**者、本府役人秉燭。……

相撲召仰[七月 大月廿八九日、小月廿七八日]

早朝大将於宿所、定手番、右近進擬近奏[……] 装束司奉仕上下装束。左右衛門立鉦鼓等。相撲人樂人等預參入。**巳刻**御南殿……十七番畢[**日暮**者不必究数止之……]……**晚頭**撤張筵[……] 王卿移候簀子敷。若夕陽盛者大臣奏事由、賜左三府將佐張筵……十七番畢[**日暮**者、不必究数止之。七八番停留之例不見。或有三以上取遣之例。或有拵燈決之例。近代最手不決、腋亦希決]……

相撲拔出[……] 昨日相撲人**夜間有故障**者、將奏其由。或依仰猶召之。若不預奏其由、行列時不具者有事咎。公卿着陣。**時刻**渡御南殿[儀如昨]。……

仁寿殿東庭相撲……**時刻**渡御於仁寿殿[黃櫨染] 内侍取劍靈候前後。公卿等入自日華門、參入着宜陽殿座……

8月

(52) 8月11日定考

② 『儀式』卷十・八月十一日太政官庁定考儀

前一日、所司装飾院内并設床席。当日早旦、弁官申政。訖考選、少納言・弁以下列立西庁南端。……

③ 『西宮記』卷五・定考[……]

……上卿着東廊[……] 召使申時[於廊東第二間壇下申]、上卿以下起座、於造曹所着靴[……]、次申文[……]、請印……

③ 『西宮記』(『政事要略』所引逸文)・考定事

□上卿以下[……]、着東廊床子[……]、装束畢、已一点[召使於廊東第二間壇下、申時刻]、上卿以下起座、於造曹所着靴……入夜之後、事訖諸卿已下起座退出[若時不及夜者、史以上列立上卿之前、至郁芳門。但列立罄折之儀未詳]

(53) 8月駒牽

③ 『西宮記』卷九

一駒迎事[……]

……当日鷄鳴、使將率一員官人迎御馬[……]、歸來之後參内。取御馬之儀、見年中行事也。

取御馬事[信濃・上野]

……次左右近衛等牽御馬[置鞍。入夜不可馳]、各入自日華門・月華門到立御前[北面]、共馳度了……

④ 『北山抄』卷九・羽林要抄

分取諸牧御馬事

前一日、告当巡次將[從下臈迎之]。当日未明[出立之所聊設酒肴。宿待之時、或仰陣設粥酒肴等]率騎射所官人[一員]以下、迎御馬。……時刻御仁寿殿[或御南殿、其儀如上野馬日]、次將候御劍。……

信濃馬日事

……御南殿。……次牽御馬[牧監取第一御馬]三匝後[若日暮、或一匝]、上卿仰令騎。……

⑤ 『江家次第』卷八

八月十五日紫宸殿御覽信濃国勅旨御馬装束

当日早朝上殿格子[掃部]、……

上野御馬御覽装束

七日、十三日、十七日、廿、廿三、廿八等(「廿五歟」、国々御馬亦同之。当日早旦上御格子[掃部司]、……

9月

(54) 9月9日重陽節会

① 『内裏式』中・九月九日菊花宴式

……其日平旦、中務置宣命位於尋常位北一許丈。内蔵寮立文台於舞台西北〔鋪虎皮立、台上居革篔〕、既而皇帝御乾臨閣、諸衛服上儀服。……

② 『儀式』卷八・九月九日菊花宴儀

前二日、式部省点定文人、作簿宣示。前一日早旦、所司裝飾紫宸殿、設參議以上座如常。……其日早旦、中務錄率史生・省掌等、參入内裏、置版并立標。……便差仰女樂前侍從二人〔……〕設式部省輔以下・省掌以上及文人座於八省院昭訓門外以北壇上、于時輔以下著座。……時刻皇帝御殿。諸衛服上儀。内侍臨東檻喚大臣。大臣称唯、左近仗南謝座、升自東階就座。……

③ 『西宮記』卷五・九日宴

……天皇出御……内弁仰參議。令召講師〔……〕近衛少将秉燭〔……〕王卿講者候御帳東〔……〕構文〔令博士講詩。及深更、誦無止一兩。……天曆七十月五日夜深。不誦詩……〕……

④ 『北山抄』卷二・九日節会事

……当日早旦、若有外任者可預文人輩。大臣奏召預之。巳刻、御南殿。近衛引陣、御帳中御座。……若有探韻、大臣奉勅、令置探韻、左次将持盛韻杯。昇殿、置文台篔中、右将監持同杯、進自陣頭、置庭中文台篔〔……天曆七年記、置絵折敷云々。上卿給左少将、至時刻於東階下召右将監給庭中料、開封置之。……〕……王卿及博士等、進候御帳東〔……〕令儒士一人講序并五位以上詩〔……夜更闌者、不必於此殿誦之。御題者、無御製云々〕……

④ 『北山抄』卷九・羽林要抄・重陽宴

時刻出御、警蹕侍衛如常。……

(55) 9月11日伊勢例幣

② 『儀式』卷五・九月十一日奉伊勢大神宮幣儀

……其日味爽、掃部寮於八省院小安殿東第三間中央、鋪御座〔東面、其後施屏風〕、……平旦内蔵寮官人一人、率蔵部二人、将幣物候。……

④ 『北山抄』卷二・十一日奉幣伊勢大神宮事〔廢務〕

……当日早旦、遣内侍女藏人各一人於八省院、令裏御幣、供御湯畢。着神態御服〔着無文巡方御帶云々〕……応和元年九月十日、左近府穢、入交内裏云々。……十四日、令仰左大臣、穢間、令勘申奉幣日例、宜令勘申。令申云、去天慶七年九月一日、左近府有失火穢。侍臣向彼府、還參内裏。仍以六日令勘其日。改定奉幣此其例也。仰依件例。令勘申奉幣日、大臣令奏陰陽寮撰申日時文、定仰廿三日。……

④『北山抄』卷八・大将要抄・伊勢例幣

時刻、行幸八省院、不称警蹕、……

⑤『江家次第』卷九・例幣次第〔無行幸儀〕

早旦先裏内宮料〔内侍弁、忌部内蔵官二人〕……**刻限**上卿参八省。行事弁出立於嘉喜門東庭(神道大系「北庭」)[大臣参時深磐折]。上官在後、当門西掖東第三柱。次弁以下着座〔弁着嘉喜門内掖、上官同門東掖〕

行幸神祇官被立伊勢幣儀

……早旦内侍参神祇官、用行事蔵人車、入自東院北門、於官東門下車。……**時刻**行幸。帛御装束……

10月

(56)10月射場始

④『北山抄』九・羽林要抄・射場始

……**日暮**、主殿寮供庭燎。……

⑤『江家次第』卷九・射場始〔十月五日。蔵人式七日……〕

……弓場東砌〔南間〕逼土居、敷所司円座一枚。為的付座〔雨砌中〕……安福殿南一間敷折薦帖、為射手座。……**時簡移立下侍西面南壁下**。御膳棚暫給於所。……**若及日暮**、主殿奉仕燈等三所。御座良一所〔掃部給鞆〕的付巽一所、的前一所。……

射場始〔幼主猶着直衣給〕

……還御〔侍臣候脂燭〕公卿退出。**若及暗者**主殿寮供炬火三所。……

11月

(57)11月1日御曆奏

②『儀式』卷十・十一月一日進御曆儀

当日平旦、中務率陰陽寮、候延政門外。大舍人叫門如常。關司就版、奏云、……

(58)11月中寅鎮魂祭

②『儀式』卷五・鎮魂祭儀〔十一月中寅日、中宮祭准此、但東宮用巳日〕

其日所司預敷神座於宮内省庁事。……**西二点**、大臣以下就西舍座、神祇伯以下率琴師・御巫・神部・卜部等、著榛摺衣、令持供神物、左右相分、入立庭中。……

⑤『江家次第』卷十・鎮魂祭〔……儀式云、**西一点**大臣着云……〕

……依穢延引例〔康保二十十一、**延引時勅日時**、天永二年〕

(59)11月下卯新嘗祭(新嘗会)

①『内裏式』中・十一月新嘗会式

其日遲明、皇帝廻自神嘉殿、祭御殿。……既而車駕幸豐樂院、諸衛服中儀服〔乘輿辺前小齋陣、次大齋陣〕、皇帝御豐樂殿、左右近衛就南庭陣〔大齋先就陣。次小齋就陣、在大齋北。並著胡床。未御之前預立之〕、……

②『儀式』卷五・新嘗会儀〔若朔旦冬至、便行叙位〕

……**当日寅刻**、掃部寮設式部輔以下・省掌以上座於興禮門以西壇上〔南面西上〕、輔以下就座、点檢五位以上。**平旦**掃部寮敷調薦於舞台上、内蔵寮以両面敷薦上、鉄為鎮子。……**時刻**乘輿幸豐樂院清暑堂〔諸衛服中儀〕、……

③『西宮記』卷六・辰日新嘗会豊明賜宴事〔**此日早旦**供解齋御手水。粥之後輕服人着吉參入〕

当日早旦、諸司装束殿上并庭中外等如常、于時天皇御南殿、左右近衛將曹各一人、率中将以下近衛以上〔中少將執戟、近衛服上儀〕、入自日華、月華兩門、進立紫宸殿南階東西。即宸儀御於御座、左右陣共称警蹕。然後居胡床。……

（**寅日夜**、有御前試。……一中卯日、新嘗祭事〔……〕**入夜**卜食人々着摺衣・日景。……）

⑤『江家次第』卷十・新嘗祭〔中院儀〕

……**当日早旦**、令卜供奉内侍女蔵人等〔……〕、内膳司以兆人簡、付内侍令奏覽。畢返給〔内侍不候者、或付蔵人〕、供忌火御湯殿〔**早旦云々**〕、**戌刻**殿司供替忌火〔在仁寿殿露台、不合御卜者、此後不昇殿〕、行事蔵人令領小忌於殿上侍臣。……

戌一点天皇御南殿〔着帛御衣、無文純方玉帶〕、近衛次將等向日華門……倚御輿……内侍進御劍乘御……入御中和門。左右近衛各一人開中門〔**趁入自掖門開之**〕、小忌王卿列立西炬火屋北〔……〕、倚御輿於神嘉殿南階……内侍率縫司供寢具於神座上退出〔御衾也〕

亥一刻、采女付内侍申時至。縫司供神事御服。内蔵司供幘〔……〕、主水供御手水〔……〕、宸儀開中戸入御東方〔入御之後、閉戸。件戸内事摂政見之。闕白不見云々〕、經神座北辺着神座以東座給〔已後之事等在別〕、事畢宸儀還御所、内侍撤寢具。

丑ノ一刻采女奏時〔作法皆如夕〕、采女申御膳平供奉由〔進殿南西戸申之、詞曰、アサ女モトリ夕曉乃御膳平久供奉止申〕、勅答、与之。次改御衣。……

寅一刻還宮……**明旦**供解齋御手水御粥等。其後大忌侍臣等參入。

同祭神祇官儀

……**戌一刻**上卿以下着。……**使部申時**、神祇官人申供神物并備了由。**亥刻**王卿以下各起座向神殿。

……**丑一刻**供曉膳〔先供寢具〕、……

新嘗祭装束

……**当日早朝**、中務録入自日華門、尋常版位北去一許丈、置宣命版。……

同節会次第

……**時刻**天皇渡御南殿。……舞妓進舞〔出自殿南廂西方〕、女官四人秉脂燭、副南柱立……

秉燭後參入人々不着座〔天慶五年元利親王〕……

同節会無御出儀

……**時刻**近仗引陣。内弁出陣後着靴〔若為小忌人者改着位袍〕王卿着外弁〔於鳥曹司着靴〕……

(60)11月中辰五節舞姫

②『儀式』卷五・大歌并五節舞儀

当日早旦、兵庫寮・鼓吹司夫等就大歌所、受鉦・鼓・鐸・篳篥、運送会所。……

③『西宮記』卷六・丑日、於常寧殿試五節事〔……五節參内前例子夜……〕

寅日夜、有御前試。……

⑤『江家次第』卷十・五節帳台試

常寧殿西塗籠内帳台上敷長筵。其上可敷舞姫座〔近代以中為上〕其前各立白木燈台一本。……**時刻**、五節舞姫參入於玄輝門〔下車公卿束帶相從。各入五節所。有筵道〕……五節皆參之後奏其由、主上出御〔御直衣、御奴袴、御沓〕、經飯長橋并承香殿南簀子、同馬道后町廊、常寧殿馬道等、入御於師靈寢。殿上侍臣指脂燭設候。近習公卿兩三供奉。……

同御前試事〔十一月中寅〕

垂清涼殿東廂御簾。其内南第三間、逼御簾鋪毯代〔或二色綾〕。立御倚子〔有鎮子〕。立迴御屏風〔大宋〕……每舞姫座前立燈台〔円座燈台用所。但師前不立燈台〕……**時刻**、先五節師參入着座。次舞姫參上……舞姫參畢者、又次第出几帳。舞姫着御前座畢者、又返茵、是為有事煩也。……

(61)11月下酉日賀茂臨時祭

④『北山抄』卷二・下酉日加茂臨時祭事

御禊訖、上卿參射場邊、令奏宣命、返給。召使給之〔或召陣座給之。近例多於小板敷給之、若遲延、着庭中座後、召公卿座給之、康保二年(神道大系「三年」)例也〕**時刻**出御〔先是、藏人所人等、居使以下饌〕、使率舞人陪從等、參入。……**入夜**、使等歸參。……

同(=延喜)廿二年十一月廿二日、皇太子參上。……**午四刻**、於御前歌舞。王卿候南長橋上。太子暫罷下弘徽殿、依召參上。……**亥刻**神樂云々。……

⑤『江家次第』卷十

賀茂臨時祭試樂

……主上入御〔乍着御挿鞋入御〕、**若及昏黒者**主殿官人奉炬火於庭中〔相分入自瀧口并仙華門〕……

賀茂臨時祭〔……〕

鷄鳴懸舞人陪從裝束。……**平旦**賜使御衣〔半臂、下重、表袴等、近年例去夕給之〕……**入夜**歸參。有神宴事。……

12月

(62)12月荷前

②『儀式』卷十・奉山陵幣儀

十二月上旬、諸陵寮録幣物数、并応拵日之状、申送治部省。省申官行下、中務省仰陰陽寮拵日〔用立春前、大神祭後吉日〕……前一日……大蔵省官人率蔵部等、裹備幣物〔幣料納当年調之日、別設正倉〕又内蔵寮差史生四人、令賁幣物於縫殿寮南庭候之、内侍以下從内裏退出、**通夜裁成、遠曉裏畢**。……**其日平旦**、大臣以下就座、**時刻**乘輿御輕幄。訖使公卿以下進執幣〔若帶劍者、暫解供事〕……

③『西宮記』卷六・荷前

十三日、定元日侍從荷前使、〔……〕上卿着陣、仰外記令進文硯大間、參議書之〔……〕參議書了奉上卿、々々付殿上弁若蔵人奏聞〔入筥加中務省申陰陽寮勸文〕返給、上卿以文〔入筥〕下外記〔外記催使、前例、中務催侍從、式部催諸大夫、**近代外記惣行新嘗會時曉參間**、式部仰諸大夫云、荷前乃儲仁候へ云々〕治部省進幣物請文、弁史下宣旨、内蔵寮進幣料請奏、蔵人奏下。……

③『西宮記』（『政事要略』所引逸文）・（十二月）荷前〔国忌前行荷前事。元慶七年・延喜十五年・天長四年〕

早朝、大臣〔若無大臣、当日第一上卿行事〕着座。……**巳刻**、天皇〔服帛衣、見弘雜格〕行幸建礼門前。……

④『北山抄』卷二・荷前事〔……〕

前一日、……**此夕**内侍女蔵人各一人、率女孀等、向縫殿寮荷前殿、調備幣物、蔵人一人奉仰、向彼寮監臨之。**当日早旦**、參議一人、向大蔵省班幣所行事。……**巳刻**、駕腰輿、御建礼門前幄。……

⑤『江家次第』卷十一

十三日定元日擬侍從并荷前使事

大臣參議着陣……上卿仰可進擬侍從并荷前使等例文硯之由。外記稱唯出進之。一人取筥入年々定文二卷。今度可奉仕使上卿注文并**中務省進陰陽寮日時等**、置上卿前。一人取硯、加入大間二卷置參議前。大臣見案令參議書之……書了定文二枚**日時入筥**。令蔵人若殿上弁、内覽奏聞。返給下外記。……荷前大神祭以前、立春以前、去御衰日、御本命日、重復日、凶会、九坎日、可定申也。……

荷前事〔（頭書）裏書云、中務式云、十二月奉諸陵幣者、**令陰陽寮拵日時、即申官**。其別賁幣者臨幸便所奉送〕

（頭書）勤使役之人**当日早旦**先遣使、令催陵戸、可令敷帖儲手水。

⑬12月19日御仏名

③『西宮記』卷六・御仏名

……**頭依例仰剋限法用於蔵人**〔仰云、**自其刻至其刻**、其法師其々。他皆効之、蔵人就房仰〕初夜〔御導師一、二、唄三、散花次第一〕二夜〔初三、半次第二、後次第一、唄御導師一二間、散花次第二〕三夜〔初（御）導師二、半次第三、後御導師一、唄御導師二、散花次第三、三礼次第二〕咒願〔御導師一〕

二三夜曉、或依音用（之）

剋限、延喜十九、初自亥二至子四、後夜自丑二（神道大系「丑一」）至同四

延長三 初自亥一至子三、後自子四至丑四

同四(年) 初自亥一至子二、後自子三至丑四

同七(年) 同上

承平八 初自亥至一子二、半自子三至丑二

後夜自丑四至寅四

恒例 初夜自亥一至子四、後夜自子四至丑四

亥一剋擊鐘、出居着〔不着剋、地下着〕、**近衛官人奏時**〔亥子左、丑寅右、府生已上立河竹東、打絃二度、称姓名、申時還出、依例夜行〕、王卿參上〔或依召出居問、微音誰そ云々、王卿一々号長押下、称名、着御前座、有後參者又問。僧上後侍臣、着東庇御屏風内、藏人所候東飯庇、校書殿人着同所書教化、御物忌時、**外宿人丑時參上**〕、御導師等參上〔入自庇南一間、從僧等候南壁下〕
(『政事要略』所引逸文)

御仏名〔前一日藏人頭奉仰、御導師并次第僧交名物内藏寮令請、其請書彼寮授出納、藏人召校書殿給之、又兼 三日差定堂童子〕、**戌刻**王卿參入〔殿上卿暫候侍所〕、**亥一剋**擊鐘。藏人二人奉勅、一人進伝頭、召王卿一人到承明門外、**召導師等之次仰剋限**。王卿起座、入青環門參上〔殿上人經侍所戸參上〕、近衛少將問云、誰〔曾〕、王卿隨次跪於出居座前〔今案欲昇刻橋、暫跪可待詞〕、一々称名着御前座〔数人共參上時者、近衛府一度問、後不問之。但於後參者時又問之、以有問也〕、次法師等參上着座〔自庇南第一間出入、弟子僧等群居亦同〕、次侍臣等、着御前座。次藏人所衆參上、座定、御導師起座着礼盤、磬二度。王卿置笏、導師当願衆生之詞訖〔最初夜導師**自亥一刻至子四点**、後夜導師**自子四点至丑三四点**、但第二夜早**初曉**竟、第三夜**曉初**竟云々〕、次梵唄二段之間、堂童子二人〔殿上五位二人奉仕之〕、……**于時夜漏到曉**。導師以下各執錫杖唱誦誦。……

近衛府申時儀、自亥至于子四点〔左近〕 丑時以後〔右近〕 立御前庭、打絃二度之後申時剋。……

④『北山抄』卷二・十九日御仏名事〔今日以後三ケ日間、折吉日始行。若有御導師闕、此間補之。藏人頭奉勅進仰之。……〕

亥一刻、藏人奉仰令打鐘。即向僧房、召御導師等、**兼仰初後御導師用法用并剋限**。王卿依召參上〔打鐘後、藏人召之、候殿上者、不待召〕、……

廿日、如昨夜。但半夜御導師相加。此夜或左。陣羞栢梨於王卿侍臣、又三夜間、於射場、与奪宿申……

廿一日、同前。若有綱所導師足採用者、今夜召加〔奉仕半夜御導師、中夜侍臣向彼所、聞其堪否〕、……

同(=延長)八年十二月廿日、**近衛府始奏時**。又有名対面〔廿三日止之〕

承平七年十二月廿七日、**是夜不奏時刻、依有荷前事也**。〔近例、此日皆奏〕……

同(=天曆)九年十二月廿二日、**寅刻**、左大臣參入。入道親王依召參候……

④『北山抄』卷九・羽林要抄・御仏名

亥一刻打鐘、藏人召御導師等、次出居次将着座〔殿上次将不具劍笏、異他出居〕。王卿依召參上〔候殿上者、更不召之〕、留跪戸前、出居微音〔音猶聞於御所〕、問曰、誰〔曾〕、各称名着座〔後參入、隨參入問之〕、次僧侶參上……

三夜之間、**左右官人夜行之者、進御前奏時刻**、大将候者、府生申宿申候由、次將進告之、大将不參者、次將向射場与奪〔先問可向〕、……

⑤『江家次第』卷十一・御仏名〔承和初有勅修之〕

……当日〔……〕

頭於御前定申僧名〔前一日定時、於昼御座定之。当日定之時、於朝餉定云々〕、……

亥一刻公卿等參入候殿上〔前例暫候殿上、着陣待召、近例不然。只候殿上往年堂童子十。藏人二人〔一人召僧、一人召公卿。近代不召公卿〕小舍人二人、着衣冠、**居時簡下**。燃火預公卿沓。藏人召薪〔燒於殿上火櫃〕藏人頭奉仰令召僧〔……〕藏人奉仰先出於弓場殿、仰函書寮、令打鐘。次還出自殿上口〔小舍人二人、差脂燭前行左右。時々追前〕、出自陰明門到僧房前之時、僧等出房列立永安門壇下。定額僧〔西上北面〕次第僧〔西面北上東〕藏人去其所一丈三尺許〔小向巽〕仰之〔雨雪時於壇上仰之〕初夜〔乃〕御導師〔△〕大〔以〕法師〔**自亥二刻（神道大系「一刻」、至子三刻）**〕後夜〔乃〕御導師〔△〕大〔以〕法師〔**自子四刻、至丑三刻**〕法用者次〔乃〕任〔万々爾〕仕〔礼〕唄〔三〕散花〔次第一〕

（頭書）御導師刻限等仰之、見藏人仰所。

次出居將着座〔不着劍笏、異他出居。自右青礫門昇。北面西上〕**近衛官人奏時**〔亥子左、丑寅右。府生以上立河竹東、打弦二度、称姓名、**申時還出**。依例夜行。往年若当荷前、不奏時刻。近代皆奏之〕次王卿參上留踰戸前〔出居微音問曰誰音猶聞於御所、次第称名進着御前北上西面。後參人隨參問之。御物忌時外宿人丑刻參上〕次僧侶參上〔……〕御導師以下着座〔北上西面〕……

次夜導師刻限等〔西宮記曰、第二夜早始晚竟〕初夜乃御導師某大以法師〔**自亥二刻、至子一刻**〕半夜乃御導師某法師〔**自子二刻、至丑一刻**〕後夜乃御導師某法師〔**自丑二刻、至寅三刻**〕法用次〔乃〕任仕〔礼〕……

竟夜導師刻限等〔西宮記曰、晚始晚竟。今夜行事藏人可召歟〕初夜〔乃〕御導師某大〔以〕法師〔**自亥二刻、至子三刻**〕半夜〔乃〕御導師某法師〔**自子三刻、至丑二刻**〕後夜〔乃〕御導師某大〔以〕法師〔**自丑二刻、至寅三刻**〕法用者次〔乃〕任仕〔礼〕……往年有御遊。近例不見。当荷前夜、不奏時刻〔承平七十二廿七、近例皆奏之〕、……

或説……御物忌時〔……三夜間左右近官人夜行者、**進御前奏時刻丑刻**。大将候者、府生申宿申候由。次將進御前告之。……〕

⑥12月内侍所御神樂事

⑤『江家次第』卷十一・内侍所御神樂事

……**被勸御神樂日時**〔令候所陰陽師勸之〕、……御座左右燈台各一本〔有打敷〕……第三間西砌、燒庭火。……**時刻**出御自額間〔位袍、草鞋〕近衛次將執御劍前行。藏人頭候御下襲尻、藏人持笏在御後。殿上人等候前後。……

内侍所御神樂事

十二月中撰吉日被行〔候所陰陽師勸申之〕……

入夜時刻渡御〔位袍、御挿鞋〕

……侍臣候脂燭……事了還御。侍臣候脂燭如前。

(65)12月晦日追儺

①『内裏式』中・十二月大儺式

晦日夜、諸衛依時刻、勒所部、屯諸門、近仗陣階下、近衛將曹各一人率近衛〔左近衛五人、右近衛四人〕開承明門。……關司二人各持桃弓・葦矢〔木工寮作備之〕……

②『儀式』卷十・十二月大儺儀

晦日戌二刻、諸衛勒所部、中務輔・丞・録率史生・省掌等、列承明門外東庭、録喚四位・五位、史生喚丞及内舍人〔史生・大舍人等計惣数、不喚來名〕于時陰陽寮官人率齋郎等、候承明門外、以桃弓・葦矢・桃杖、頒充儺人〔守辰丁預前造備〕、訖大舍人叫門。關司問、阿誰、大舍人答、儺人等將參入〔止〕、其官姓名等〔謂參議已上〕、候御門〔止〕申。關司伝奏如上。于時儺人入而列立。**時刻**陰陽寮共入、齋郎持食薦、敷庭中陳祭物。其料五色薄繩各一尺二寸、飯一斗、酒一斗、脯・醢・堅魚・鰻・乾魚各一斤、海藻五斤、塩五升、柏廿把、食薦五枚、匏二柄、缶二口、陶鉢六口、松明五把、祝料当色袍一領、袴一腰〔寮預前申省、請受弁備〕、訖陰陽師進誦祭文。其詞曰、**今年今月今日今時**、時上直符。時上直事、一人一事、時下直符、時下直事及山川禁氣、江河谿壑、二十四君、千二百官、兵馬九千万人〔已上音誦〕……

③『西宮記』卷六・追儺事〔中務省以分配文付内侍所。近代不然〕

戌刻、王卿着座〔衛府帶弓箭、長楽門東廊西上对座。親王南面上卿北面。以紺幕曳渡柱外〔雨儀也〕、晴時廊前立七丈幄二字〕、近仗陣南階〔立陣〕、兵衛陣承明門外、中務丞進分配簡〔每門一枚、惣四枚、王卿以下分配四門〕、上卿以下見下了、自侍從座如元返上。……

晦日、差定殿上藏人所追儺所事

殿内 四角

已上、殿上人依員分配、**午時**押西小壁知之

南殿 仁寿殿

已上、藏人所人依員分配、**午時**已上押壁知之

康保三年 月

(『政事要略』所引逸文)

追儺事〔宰相行例、承平二年、橘公頼実頼等、天曆九年、有相、天徳元年、顯忠等〕

中重装束

長楽門外東廊、設王卿、侍從、内舍人等座〔西上对座、就中親王南面、大臣北面〕、以紺纒曳度柱外、〔右雨儀〕

晴時、廊前庭中立七丈幄二字〔東西為妻列宇〕、**戌刻**王卿以下着座〔督府者帶弓箭〕、**亥一点**中務丞執分配簡〔四枚〕、就膝突進上卿、上卿見了授次人、次第見了之後、自侍從座、如本返上四枚簡……

④『北山抄』卷二・追儺事〔近例、外弁用雨儀、往昔出御時、内侍着線上装云々〕

中務省以分配文、付内侍奏之。王卿就中隔幄〔雨儀、長楽門東廊、西上对座。上卿北面〕、**亥一刻**、

中務丞、奉諸門分配簡四枚、上卿見畢。……

④ 『北山抄』卷九・羽林要抄

追儼 [近代無出御、仍不引陣、然而猶臨其期帶弓箭]

亥一刻、左右近立陣 [……] 如常。即開承明門 [不開長樂永安門] 儼人等參入……

⑤ 『江家次第』卷十一・追儼 [近例用兩儀]

中務省以分配文付内侍所 [近代不然] 藏人押分配於小壁 [殿上西戸南掖。其高与立人等] **戌刻**王卿着外弁 [西上对座、上卿北面] 衛府帶弓箭、以紺幕曳度柱下 [弁少納言着其外] **亥一刻**中務丞奉諸門分配簡 [着軾奉之。四枚。近代一枚] ……

[裏書云、分配。中務式曰、年終行儼者、前晦二日、少輔已上点定親王并大臣以下、次侍從以上及丞録内舍人等応預事者、造奏文。**当日早旦**令内侍進奏。……]

上卿見之下參議。々々見下侍從座。侍從見了返上 [自幕下出之] 上卿返給丞 [分配人不具者、**上卿于(子力)時差定**。近代無此事] 録取簡於長樂門召計 [史生代召六位] 陰陽寮以桃枝弓葦矢、進上卿以下。内侍渡南殿 [上古繆上裳。近代不然] 又雖有渡御、不着御帳内。近代殊不出御。……殿上人於長橋内射方相、主上於南殿密覽。……

[裏書云……後朱雀寛徳元年十二月卅日、上卿權中納言資平卿已下參入。以左少弁資仲奏云、**刻限漸到**。早申行如何。仰云、天下之動靜唯依追儼遲速。**而近年不待刻限、急行退出**。故災孽頻發。人民不安。**於今者慥守刻限、可申行者**。上卿資平以下深所畏申也]

(付記) 本稿は、科学研究費補助金 (課題番号18520525) による成果の一部である。

(2011年 1月31日受理)